



創立50周年を迎えたO・Zホイール F1テクノロジーを反映した市販車用ホイール Superturismo Aero-HLT

グランプリを開発の場にホイール開発するO・Z。ブランド創立50周年を迎えた今年画期的な新製品が登場した。F1同様、空力を味方につけたエアロホイールだ



O・Z Superturismo Aero-HLT
18~19インチ対応
8万2500円~10万8900円(税込/本)



O・ZがF1に供給するホイールと同様に、リム内側に追加された「エアロフラップシステム」。タイヤの回転で巻き起こる乱流を整流し、そのエアフローでブレーキも効率的に冷却する。その開発にはレーシングマシン同様、風洞実験でのデータが活かされている。もちろんO・Z独自のHLTテクノロジーで鍛造製法と同等の軽量化と高剛性が実現している。さらにセンターロックカバーのデザインが、レーシングムードを高めてくれる。



メルセデス、フェラーリ、レッドブル、アルピーヌなど、F1の主要チームの足もとを支えているO・Zホイール。今年シルヴァーノ・オゼラドールとピエトロ・ゼンが1971年に互いのイニシャルを組み合わせて創設したブランドの50周年を迎える。現在はF1への強力なパートナーシップでブランド力をアピールし、世界72カ国でアフターマーケット・ホイールを販売している。

そんなO・Zが、F1活動を通じて培ったノウハウを注ぎ込んだのが今回紹介する「スーパーツーリスモ・エアロ HLT」だ。F1マシンはタイヤが剥き出しのため、タイヤが巻き起こす乱流が空力的に大きな障害になる。そのため、F1ではホイールで空力をコントロールするメカニズムが採用されているが、それを市販車で実現したのがこのホイールなのだ。リム内側に装着された「エアロフラップシステム」がエアフローを生み出し、ホイールまわりの整流とブレーキクーリングを効率的に行う。まさに圧巻のハイテクノロジーホイールが市販車にも装着できる時代が来た。ぜひそのメカニズムを愛車でも体験してほしい。

